



栃木精工(株)

代表取締役社長

かわしまひろき
川嶋 大樹 氏

1948年にステンレスパイプを加工した注射針製造を行う晃陽精密として創立。52年に現社名に改組した。現在は医療機器や精密パイプ、磁気センサー・シールドなどの製造のほか、滅菌処理や素材を軟化させる焼きなまし、OEM(相手先ブランドによる生産)なども請け負う。設立70周年であつた昨年は、祖業である注射針で社会に貢献、激動の年だつた。

2021年春、新型コロナウイルスのファイザーワクチン接種用に、薬液口スの少ない「ローデットタイプ」本大震災の後の計画停電時も同じく社員一丸となつて取り組みました。通常では考えられない依頼でしたが、普段から心掛けている『必要なものを、必要な時に、必要な人に供給する』と「今思い返してみれば、10年前の東日本大震災の時も、同様に取り組める環境づくりにも力を入れる。優秀な人材の確保の観点から月間工場をフル稼働させて対応した。

「今思い返してみれば、10年前の東日本大震災の時も、同様に取り組める環境づくりにも力を入れる。優秀な人材の確保の観点から月間工場をフル稼働させて対応した。

造業の基本である「良品を納期通り返す。もう一つ心掛けているのは製

造業は技術やノウハウが重要で

いざという時には団結する」と話す。

「決められた工程・ルールを厳守す

る」という決して簡単ではない「凡事

じい」と願い、社員が安心して仕事

に取り組める環境づくりにも力を入

れる。優秀な人材の確保の観点から

コロナ禍で学業を断念せざるを得な

かつた学生の募集も行つた。

昨年、大宮工場に新設したR&D棟

では、大学発スタートアップ企業との

連携や県内の医療系大学と連携した自

社製品の開発などを担う。自社製品の

開発・製造の基礎になるのがOEMで

培つた技術。今年は増産体制強化を目

的に入、栃木市内に大宮工場の移転と医

療用機器製造工場の建設に着手する。

凡事徹底で良品を届ける

未来の医療と豊かな生活を提供する

コネクターハブ企業

Tochigi Seiko Co., Ltd.

栃木精工株式会社

〒328-0012 栃木市平柳町2-1-5

☎0282・27・1133

後は栃木精工で定年退職を迎えてほ

り、ジョブ型雇用よりもメンバー

の製造も、新型コロナウイルスの感

染予防対策の徹底も、共通するのは

シップ型雇用の組織の方がふさわし

いと考える。「新卒も中途社員も最

後は栃木精工で定年退職を迎えてほ

り、ジョブ型雇用よりもメンバー

の製造も、新型コロナウイルスの感

染予防対策の徹底も、共通するのは

シップ型雇用の組織の方がふさわし

いと考える。「新卒も中途社員も最